

# 器械・器具を使っでの運動遊び



## 器械・器具を使っでの運動遊びについて

### ●●●このような領域です●●●

○いろいろな器具や用具を使った動きに楽しく取り組んで、自分の力にふさわしい動きを身に付けたときに喜びを味わうことのできる運動遊びです。

○それぞれの器械・器具の条件のもとで、支持、ぶら下がり、振動、手足での移動、逆さ姿勢、回転など、日常生活では通常行われない動きを含んだ運動遊びを行うことが特徴です。 → 解説 P.14

### ●●●このような内容の構成です●●●

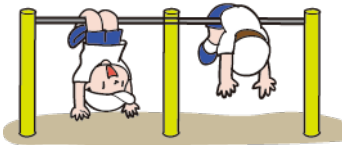
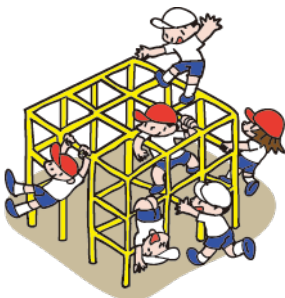
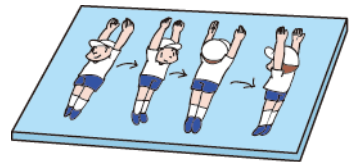
低学年	中学年	高学年
器械・器具を使っでの運動遊び	器械運動	器械運動
固定施設を使った運動遊び		
マットを使った運動遊び	マット運動	マット運動
鉄棒を使った運動遊び	鉄棒運動	鉄棒運動
跳び箱を使った運動遊び	跳び箱運動	跳び箱運動

### ●●●このような内容を指導します●●● → 解説 P.27～29

#### (1) 技能

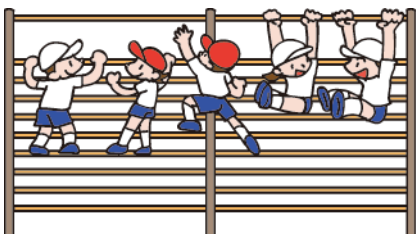
次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。

- ア 固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをする事。
- イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。
- ウ 鉄棒を使った運動遊びでは、支持しての上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすること。
- エ 跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをすること。



#### (2) 態度

- ・運動に進んで取り組むこと。
- ・きまりを守り仲よく運動すること。
- ・場の安全に気を付けること。

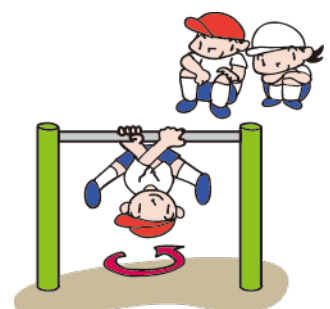


仲良く楽しもう  
順番を守って行おう  
協力して片付けよう

#### (3) 思考・判断

- ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫すること。

よい動きを見付けよう  
動きを楽しむ遊び方  
を選ぼう



# 授業づくりの視点

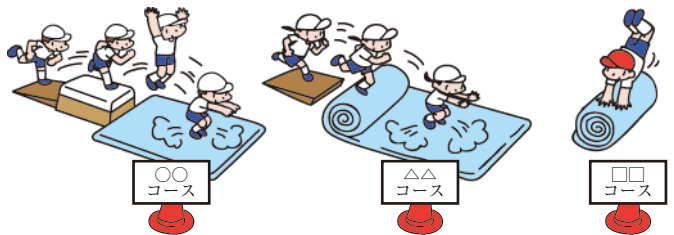
## ●●●授業づくりの考え方●●● → 解説P.14・15

- 児童が楽しい動きを取り入れた運動遊びに取り組むなど、夢中になっていろいろな運動遊びに挑戦しながら、支持、ぶら下がり、逆さ姿勢、回転などの基本的な動きができるようにします。
- 児童が友達と一緒に取り組んで遊んだり、自分の力に合った場を選んで遊んだりする中で、器械・器具を使った動きを工夫しながら運動遊びを広げることができるようにします。

## ●●●こんなところがポイントです●●●

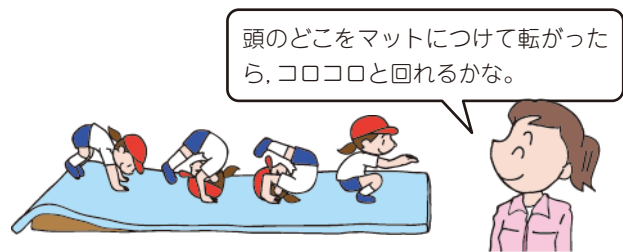
### 楽しく活動できるように運動の場を工夫する

児童が動きを広げたり新しい動きを見付けたりしながら夢中になって楽しく活動することができるよう、様々な運動の場や用具を工夫します。



### よい動きを共有するために動きのポイントを押さえる

児童が楽しく運動遊びを行いながら、支持、ぶら下がり、逆さ姿勢、回転などの基本的な動きを身に付けることができるよう、動きのポイントを学級全体で共有できるように指導します。



### 指導のねらいに合わせて言葉がけを具体的にする

児童が友達と仲よく取り組むとともに、楽しくできる行い方を工夫したり、基本的な動きを身に付けたりするよう、ねらいを明確にした言葉がけを具体的にを行うようにします。



## ●●●2年間の計画を考えます（マットを使った運動遊びの例）●●●

<A校の例> 第1学年では基本的な動きを身に付ける時間を十分に確保し、第2学年では身に付けた動きを工夫して行う時間を多く設定した計画例 □は1年生 □は2年生

1～5	6～7	8～10	11～15
支持や回転などの動きの基礎となる感覚や基本的な動きを身に付ける運動遊びを楽しく行う。	身に付けた動きを工夫して運動遊びを楽しく行う。	支持や回転などの基本的な動きを身に付ける運動遊びを楽しく行う。	身に付けた動きを工夫して運動遊びを楽しく行う。
手や背中での支持, いろいろな方向への転がり		手や背中での支持, いろいろな方向への転がり	

<B校の例> 第1学年では指導する内容に応じて身に付けた動きを工夫して行う時間を適宜設定し、第2学年では身に付けた動きを工夫して行う運動遊びの時間を徐々に増やした計画例

1～2	3～4	5～6	7～8	9～14
基本的な動きを身に付ける運動遊びを楽しく行う。	身に付けた動きを工夫して運動遊びを楽しく行う。	基本的な動きを身に付ける運動遊びを楽しく行う。	身に付けた動きを工夫して運動遊びを楽しく行う。	支持や回転などの基本的な動きを身に付ける運動遊びを楽しく行う。
手や背中での支持		いろいろな方向への転がり		身に付けた動きを工夫して運動遊びを楽しく行う。
				手や背中での支持, いろいろな方向への転がり

※「基本的な動きを身に付ける運動遊びを楽しく行う。」と「身に付けた動きを工夫して運動遊びを楽しく行う。」の順序を固定的に位置付けるものではありません。各学校や児童の実態に応じて工夫します。

# 固定施設を使った運動遊び



## 具体的な指導内容

### 固定施設を使った運動遊びでは

支持やぶらさがり、振動、手足での移動、逆さ姿勢、回転などの運動遊びを楽しく行うとともに、基本的な動きを身に付けたり工夫したりすることが課題です。

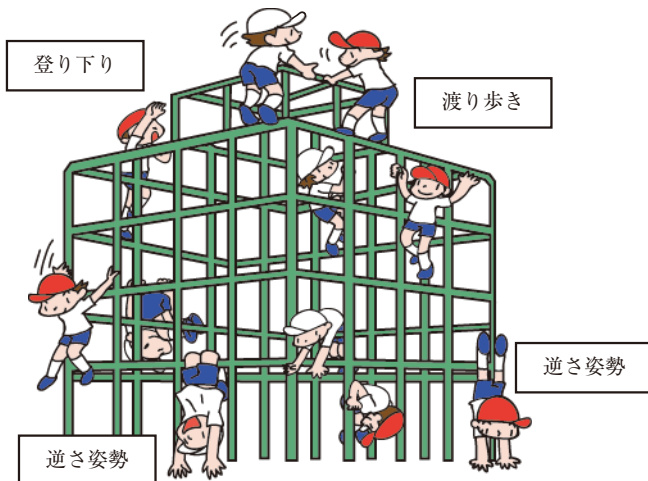
校庭や体育館にあるジャングルジムや雲梯<sup>うんてい</sup>、登り棒<sup>ろうぼう</sup>、平均台などでのいろいろな登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをしたり、逆さ姿勢などをしたりする楽しさを意図的に取り入れた運動遊びを構成します。

休み時間などに児童が自ら取り組み、運動の日常化にもつながるものなので、安全な遊び方を身に付けることができるようにすることも大切です。

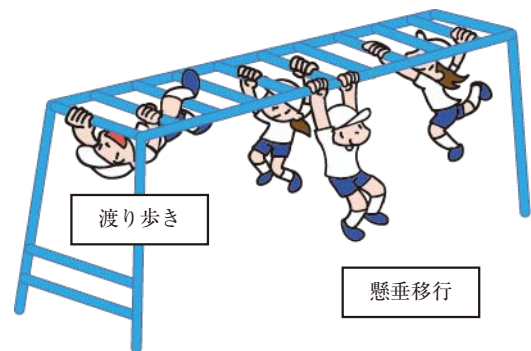
→ 解説 P.27

### 解説に例示として示されている運動 → 解説 P.27

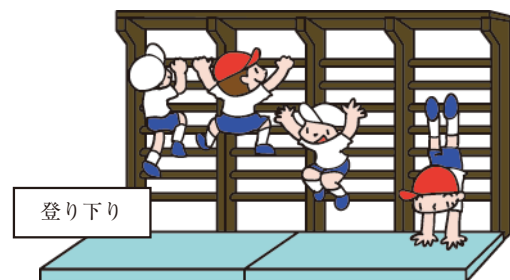
#### ジャングルジムを使った運動遊び



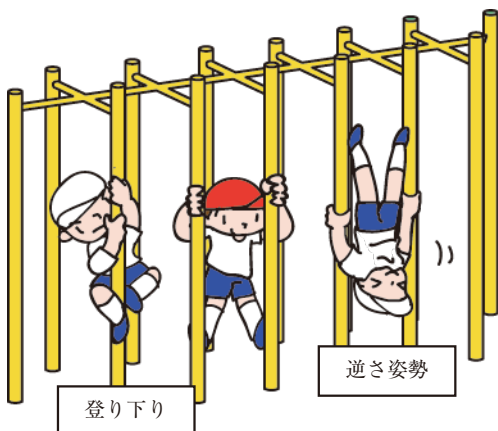
#### 雲梯<sup>うんてい</sup>を使った運動遊び



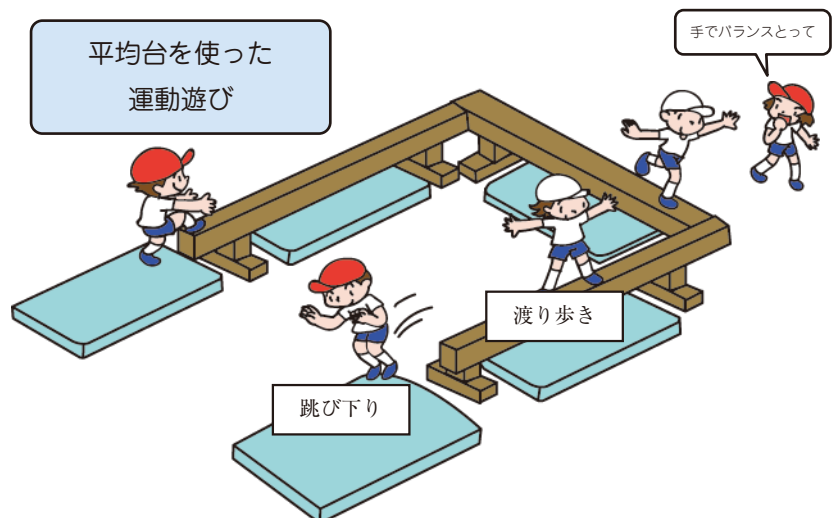
#### 肋木<sup>ろうぼう</sup>を使った運動遊び



#### 登り棒を使った運動遊び



#### 平均台を使った運動遊び



# 授業づくりの留意点

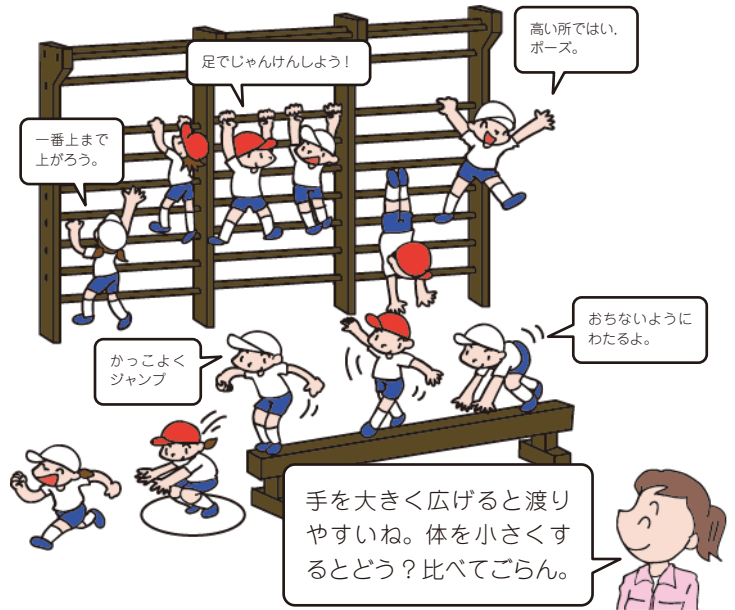
指導の充実のために → 解説 P.14・15・27

## 楽しく活動できるように運動の場を工夫する

児童がいろいろな登り方や下り方、渡り方などを工夫しやすように運動の場を複数設け、巡回しながら取り組めるようにすることが有効です。

教師は全体を見渡すことができる位置にいて、助言をしたり、安全に注意させたりしていくことが大切です。

恐怖心から運動を躊躇する児童もいるため、易しい場や集団で取り組む場を設定し、運動遊びを楽しく行えるように場を工夫します。



## よい動きを共有するために動きのポイントを押さえる

児童が支持やぶらさがり、振動、手足での移動、逆さ姿勢、回転などの動きを楽しく行う中で身に付けることができるように、児童の運動遊びの中から、コツとなる動きのポイントを具体的にに取り上げ、学級全体で共有するようにします。

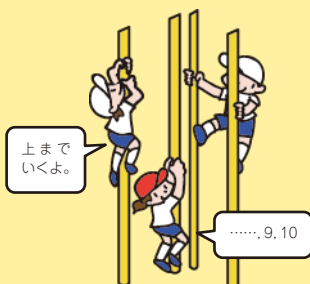
## 指導のねらいに合わせて言葉がけを具体的にする

児童は運動遊びを楽しみ、いろいろな動きを工夫していきます。教師は、児童が考えた動きや気づきを生かして、指導のねらいを明確にし、学習を方向付ける具体的な言葉がけを行うようにします。



## 児童のこんな姿を目指します

これまでで、一番高く上れました。登り棒は楽しいです。



友達とつながっていっしょにしました。友達が落ちそうになったときに支えてあげました。



友達が上手だったので同じように両手を広げてやってみました。

